

白石紬子著 『アマゾン、シンガーへ続く森の道』 出版記念講演会のお知らせ

「守るべき大地はどこにある？」

急速に開発され、姿を消していくアマゾンのジャングル。その開発は日本とも深く関わりがあった。

東京で生まれ育った著者「パイングリ」こと白石紬子が見た開発の現状、めったに日本人が入ることのできないアマゾンに暮らすインディオ（先住民）の村を訪れた驚き、感動、喜び学びがぎゅっと詰まったアマゾン体験エッセイ。



2012年9月29日(土)

- 時間: 15:00開演 (17:00頃終了予定)
- 場所: 成城クラブ Aルーム
千代田区有楽町2-2-1 ラクチョウビル10階
JR「有楽町」駅銀座口
地下鉄「銀座」駅C1出口徒歩3分
地下鉄「日比谷」駅A11出口徒歩5分
- 参加費: 1,500円 ※要予約 (お茶とお菓子をご用意します)
- ご予約はお名前をご記入の上、以下へ連絡下さい。
→FAX:03-5481-1913 Email: xingu@rainforestjtp.com

著者プロフィール: 白石紬子(しらいしあやこ)
NPO法人熱帯森林保護団体(RFJ)、事務局長。
1979年東京生まれ。初等学校から大学まで成城学園で過ごす。成城大学文芸学部文化史学科卒業。2004年より、RFJにて活動の手伝いをはじめ。2005年3月、筑波大学大学院環境科学研究科卒業。同年4月より毎年、RFJ代表南によるブラジル現地視察に同行。現在は専属スタッフとしてRFJの活動をサポートしている。

初等学校のパンフレットに
卒業生として載りました!



初等学校には
『アマゾンに通ずる』
ものがあると感じます (白石 紬子)

白石 紬子 (平成3年度 白樺組卒業)
NPO法人熱帯森林保護団体(RFJ)事務局長。2004年よりRFJにてボランティアを始め、2011年までブラジルアマゾンに赴き、現在は専属スタッフとして日本人の活動をサポート。アマゾンの熱帯林及び、そこに暮らす先住民の保護を行っている。鎌倉遠征や佐世への夏の学校、スキー学校等も思い出深いのですが、毎日一緒に駆け回って遊んだ友達に家族のように、20年経っても仲良しは変わりません。アマゾンの先住民の世界は、人間の視点とも異なる暮らしです。「今」をどれだけ生きてきたか、そういうことを尊重できていた初等学校は、アマゾンに通ずるものがあると感じますし、当時味わったその部分は今も私の中で変わることがありません。
(母)白石 佐東
「遊び」や「劇」等の独自の授業があること、成績表がないことで喜びました。のびのびと自分の好きなことをして、お友達とも思う存分遊ぶ、小学生時代にはかできないことをしたと思います。部活の衣装を縫ったことや、父母会の活動で他のお母様方の特技を知り、それがよい刺激になったこと等が楽しい思い出です。

2012年10月27日(土) 三省堂成城店共催

- 時間: 13:30開場 14:00開演 (16:00頃終了予定)
- 場所: 成城ホール 集会室E
小田急線「成城学園前」駅下車、徒歩3分
世田谷区成城6-2-1
- 参加費: 無料(予約不要)
- カヤポ族映像『カヤポ』上映会+講演となります。
- 9月23日より、三省堂書店成城コルティ店に『アマゾン、シンガーへ続く森の道』コーナーができます。

■特定非営利活動法人 熱帯森林保護団体

(Non Profit Organization of Rainforest Foundation Japan: RFJ)

1989年5月設立。ブラジル、アマゾンのシンガー川流域に位置するシンガー先住民国立公園の熱帯林の保全と先住民生活持続支援を主な目的とするNGO/NPO。

所在地・連絡先: 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-8-20 TEL:03-5481-1912/FAX:03-5481-1913

Email: xingu@rainforestjtp.com URL: http://www.rainforestjtp.com twitter: @kenkominami @RFJstaff